

9  
Japanese 1 Required Poem

じこしょうかい

1. はじめまして。
2. わたしのなまえは (first name) です。
3. \_\_\_\_\_ じんです。
4. わたし/ぼくは アラスカにすんでいます。
5. \_\_\_\_\_ さいで、こうこうの \_\_\_\_\_ ねんせいです。
6. しゅみは (one word answer only) です。
7. まいにち、がっこうで にほんごを べんきょうしています。
8. にほんごが だいすきです。
9. ひらがなと カタカナが できます。
10. これからも いっしょうけんめい がんばります。
11. どうぞ よろしく おねがいします。

Updated as of 12/06/02

JAP-I

NEW

Japanese / Level One / Optional

⑩ あめ たにかわ しゅんたろう

あめが ふると  
つちの においがする  
あめが ふると  
あしのうらが くすぐったい

あめが ふると  
まちが しずかになる  
あめが ふると  
むかしのことを かんがえる

⑪ ともだち たにかわ しゅんたろう

ともだちは ばかみたい  
わたしを わらう  
ともだちは すごいかおで  
わたしを にらむ

わたしも ともだちを  
わらってやる にらんでやる  
そのあとで またあそぶ  
わたしたちは ともだち

NEW

Japanese / Level Two / Required

12

鳥が | 川崎洋

/40

鳥が |  
空を見上げるように  
花がつぼみをほどく

8点

鳥が |  
羽ばたこうとするように  
花が葉をしげらせる

8点

鳥が |  
飛びたつように  
花が咲きそめる

8点

鳥が |  
歌うように  
花がにおう

8点

そして |  
人はことばで  
鳥のように飛び  
花のように咲く

8点

-1.2 / mistaken word.

13

Level 11 Oathkeeper

えんそく

(おのとおさぶろう)

小野十三郎

おひるについた山の上

くまなくすんだ青い空

うごくともなくうごいてる

遠い小さなレンズ雲

すすきっぱらの風の中

ああいいなあとせんとうで

歩みをとめた先生の

びっくりするような声でした

14

Level 12 Oathkeeper

涙

(かわさきひろし)

川崎洋

母さんは 笑いすぎて 涙をこぼすことがある

父さんにしかられて ぼく 涙がでた

姉さんは 音楽を聴いていて

涙がにじむことがあるという

ラグビーの試合で

勝ったチームと負けたチームの 両方の選手たちが

涙を腕でこすってた

涙ってへんな水

15

さくら | 'まど、みちお

さくらの | つぼみが  
ふくらんできた

8

ど おもっているうちに  
もう まんかいに なっている

きれいだなあ  
きれいだなあ

8

と おもっているうちに  
もう ちりつくしてしまう

8

まいねんの ことだけれど  
また おもう

いちどでも いい  
ほめてあげられたらなあ、と

8

さくらの ことばで  
さくらに そのまんかいを

8

-1,2 / mistaken word

16

山頂から 小野十三郎

山にのぼると  
海は天まであがってくる。  
なだれ落ちるような若葉みどりのなか。  
下のほうでしずかに  
かっこうが鳴いている。  
風にふかれて高いところに立つと  
だれもしぜんに世の広さを考える。  
ぼくは手を口にあてて  
なにか下のほうに向かってさけびたくなる。  
五月の山は  
きらきらと明るくまぶしい。  
きみは山頂より上に  
青い大きな弧をえがく  
水平線を見たことがあるか。

17

白い馬 高田敏子

波のうしろをはしる波.....  
波のまえをはしる波.....  
海には 白い馬が群れている

春の朝  
白い馬は 陸に駆けあがり  
少年たちの姿になってはしりはしりつづける

やがて  
その若い光の一行が  
みさきのほうへ曲がってゆく

18

共に明日をめざそうよ やまもとようこ

出会いから ここまで  
同じ季節 重ねてきた  
Vの字を 指で作って  
記念写真に 希望が見えた  
ベストフレンド ありがとう  
いつまでも 君がいる

ボールペンで したため  
出した手紙 それが青春  
小さな旅を みんなしてきた  
くるしいけれど 希望が見えた  
ベストフレンド ありがとう  
忘れない 君がいる

心のいばら ぬいては  
心もよう 少しかえた  
数えきれない 思い出たちよ  
きみといると やさしくなれた  
ベストフレンド ありがとう  
笑みをこぼせる 君がいる

共に明日をめざそうよ  
共に明日をめざそうよ

北の春

丸山薫

どうだろう

この沢鳴りの音は

山々の雪をあつめて

ごうごうと谷にあふれて流れくだる

このすさまじい水音は

緩みかけた雪の下から

一つ一つ木の枝がはね起きる

それらは固い芽のたまをつけ

不敵なむちのように

人の額を打つ

やがて やますその林はうっすらと

緑いろに色付くだろう

その中に 早くも

こぶしの白い花もひらくだろう

朝早く 授業の始めに

一人の女の子が手を挙げた

先生 つばめがきました

にぎりこぶし

村野四郎 (むらのしろう)

悲しいときや苦しいとき、

ぼくはいつも

こぶしをかたくにぎりしめる

すると、 苦しみや悲しみは、

みんな ぼくからにげてゆく。

勉強で なきたくなったとき、

ぼくはぐっと

こぶしを かたくにぎりしめる

すると、 本の字が はっきり見えてくる。

また、 北風が ビュービューふいて

ぼくをいじめるとき

ぼくはむねをはり、

ぐっと、 こぶしをにぎりしめる

すると、風のやつ、

急に道ばたの木へにげ帰り

えだを、ガサガサ くやしそくに

ゆすっているんだ。